

翠明院たより

節分会



鬼は外
福は内

いつも以上に息の合った鬼たち さあ、出撃！

2月3日は節分でした。多くの家々で豆まきをされたのではないのでしょうか。邪気を払い無病息災、豊作を願う行事として室町時代中期には定着し、江戸時代には現在の豆まき行事として一般庶民にも広がったそうです。特養翠明院でも当日に豆まきを行いました。職員扮する鬼めがけて、豆をまきました。

皆さんで力を合わせて豆をまいたことで、特養翠明院から鬼を追い払うことが出来ました。これで、きっと今年も皆さんが健康（マメ）で笑顔いっぱいの年になることだと思います。

今年も 元気で 楽しく 愉快地に！

皆様、どんな正月を過ごされたでしょうか？

今年は例年に比べ少し暖かく過ごしやすかったように感じました。さて、特養翠明院の正月の三が日は、おせち料理を食べ、御屠蘇を飲み、願いを祈る初詣におみくじ、絵馬に獅子舞い、福笑い等と盛りだくさんでゆったりと笑いのたえない日々を過ごすことが出来ました。



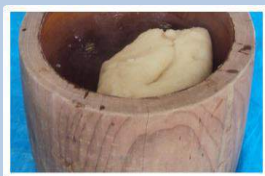
除夜の鐘

平成 27 年 12 月 31 日 施設に入所している方々に除夜の鐘をついてもらおうと、小鐘をお借りし、除夜の鐘を皆さんについてもらいました。皆さん、1 年を振り返ったり、新年を迎える喜びをかみしめながら、鐘をついて手を合わせていました。皆さんの晴れ晴れとした表情を見ているうちに、ふと私の心の中にも実は一人一人の鐘があるのでは・・・と思いました。そして、一人一人の独自の鐘が「除夜の鐘の音色と共にあちらこちらで鳴り響いているような気がしました。そして、新たな年が始まります。新しい出会いや新しい感動を求めて、特別養護老人ホーム翠明院の 1 年が始まります。



餅つき

毎年、恒例の餅つきを開催しました。入所者の方々が楽しみにしているイベントのひとつですが、職員は、お餅を喉に詰まらせるような事故が起きないようにと緊張するイベントでもあります。杵つきもちは一味も二味も違います。職員も初めはぎこちなかったですが、回数を重ねていくうちにだんだん様になってきました。「よいしょ！よいしょ！」の掛け声とともに美味しいお餅ができあがり、きな粉やあんこ絡めて召し上がっていただきました。みなさんの「美味しかったよ」の笑顔が印象的でした。



余暇活動委員会

施設での生活は単調になりがちで淡々と時間が過ぎてしまいます。そんな時間の中で少しでも皆さんに生き生きとした時間を送っていただくため、季節の移ろいを感じていただくような様々な活動に取り組んでいます。

凧作り



クリスマスリース作り



《編集後記》 新しい年になり、早くも 2 月となりました。2 月は立春を迎える月ではありますが、春の陽気を感じるには、まだ時間がかかりそうです。ニュースは様々な出来事を伝えています。古来より『申年は荒れる』の言い伝えが本当なら、尚更の事、日々の精進が求められているように思います。世の中のざわめきは、自己のざわめきと捉えて油断しないようにしなければいけませんね。申年が『見ざる 言わざる 聞かざる』と言われた所以は、やはり申年は荒れるとの言い伝えからかもしれませんね。ご利用者を『見て 聞いて 寄り添って』の心持ちで職員一同前進して参りたいと思います。